

Topics



11月16日、応接室において、令和2年度全国町村監査功労者表彰状の伝達式が行われました。

このたび、表彰となったのは、緑町の又野博さんです。又野さんは、平成24年11月5日から剣淵町の監査委員として選任され、現在も監査委員として活躍されています。

この表彰は、町村監査委員として7年以上在職し、功労のあった者に対し、全国町村監査委員協議会から贈られるものです。



11月18日、役場庁舎において、火災を想定した避難訓練が行われました。

この避難訓練では、庁舎に勤務する職員を対象として、一階物品庫からの出火を想定しながら町民の避難誘導や指示、重要文書の搬出、初期消火活動など、火災発生時をシミュレーションしながら実施されました。このほか、消防職員が講師となり消火器の使いかたや注意点などを学びました。



11月19日、応接室において、剣淵町交通安全協会から高齢者大学剣淵町平波大学と剣淵町老人クラブ連合会に対し、マスク120枚が贈呈されました。

夕暮れ時間が早まる秋以降に、高齢者を中心とした歩行者が被害となる交通事故が多く発生することから、反射材加工された「反射マスク」が贈られ、剣淵町交通安全協会卵城会長は「自動車運転手から目立つ反射マスクをつけて交通安全に気を付けてほしい」とおっしゃられていました。



11月25日、応接室において、令和2年度北海道社会貢献賞(自治功労者)表彰状の伝達式が行われました。

このたび、表彰となったのは、東町の高橋一博さんです。高橋さんは、平成9年12月15日の剣淵町議会議員選挙以降、連続6回当選し、現在では町議会議長の責務を担っています。

この表彰は、議員16年以上勤めた60歳以上の者に対し北海道知事から贈られるものです。



12月4日、剣淵高校において、「未来のしんろ系列」新設記者会見が行われました。

剣淵高校では、農業国際系列、生活福祉系列に加え新年度から「未来のしんろ系列」が設立されます。

この系列は、来年度の入学生が2年次に選択できる系列です。普通教科を中心とした学習を行いながら、探求型学習として、絵本の活用やインターンシップ学習などを行い、大学進学や公務員への就職など、生徒の進路先の選択肢が広がることが期待されています。



12月8日、応接室において、剣淵町稲作振興会から給食用食材が寄付され目録が贈呈されました。

今回寄付されたのは新米180kg(うるち米120kg、もち米60kg)です。

会長の菅原達也さんは「剣淵産のお米は出来が良く美味しいので子どもたちに味わってほしい」とおっしゃられていました。

寄付されたお米は、町内学校給食のほか、剣淵町保育所の給食でも子どもたちに届けられています。